



水口 崇

子育て教育

【質問】 計画でこども園8億円・串本小19億円、大変立派な施設建設予定だが。立派な建物より、教育内容を充実すべきである。

【回答】 「生きる力」不足の串本町（学力・体力が低く、不登校も多い）県内での企業の採用でも40%が能力不足で不採用・定着率が悪い（辛抱しない）「生きる力」が備わらず、社会に出てニート化する若者が多くなっている。

人間形成で一番大切な幼少期、小中学校の果たす役割は大変重要である。

小中学校は、生きるための準備の場。そして武器は教育。どこに行っても負けない子供を作る。益々難しい時代、串本町の現状を見ると大変不安である。

「生きる力」を付ける為、学童保育も全地域に必要。

危機管理 防災対策

【質問】 災害の現状をもっと研究すべき。防災の拠点であるサンゴ台 災害対策室・消防・病院であるが、災害時孤立化して機能が果たせるのか？ 道が無い為、職員の召集、怪我人・物資の輸送は出来ない。裏側からサンゴ台に通じる災害対策道路を造るべきである。

【回答】 （総務課長） 物資は、ヘリコプター。職員は徒歩。災害用道路は検討していない。



津波によって道路はガレキに埋め尽くされ、孤立し救援隊が駆けつけられない。

くしもと町立病院 町民の命を守る

【質問】 高水準の医療提供のために、平成26年の6月議会に遠隔医療について質問。今スマホによる遠隔医療で、脳梗塞から多くの方が社会復帰している。専門医の手にMRI画像を送って診断してもらい治療する。遠隔医療は、特別な物ではなくなってきた。

和歌山県が、遠隔医療を始めた。県からの打診はあったが、議会にも委員会にも相談もなく、県の遠隔医療に少しも病院は不参加。今後町民の命を守る事が出来るのか？

【回答】 （病院事務長） 県立医大から医師派遣をしている病院が参加している。6月に県立医大から遠隔外来の説明に教授が来たが病院長と協議をして参加を保留している。

【質問】 患者救命のために、ハンディーはITで補い、病院の垣根を越えて専門医の経験を得て治療に活かすが遠隔医療である。学園のせいで串本町民の命

を犠牲にして良いのか？ 学園の都合で私達の命がおろそかになり、助かる命も助からない。此が串本の宿命なのか？ 本町の救出劇をすべき、串本町は、どこの誰か解らない異国の方を賢明に救出した町である、映画で訴えたかったのは何か？ くしもと病院は、町民を救出するのが、最大の目的である。遠隔医療に参加すべき。

【回答】 （管理者） 救命率が上がるのであれば、くしもと病院も此に参加していく。

Advertisement for remote medical services (遠隔外来) featuring a list of participating hospitals and a photo of a doctor using MRI.



橋爪 和雄

加工食品の取り組みについて

【質問】 農産物の加工技術や販売方法について学ぶ、加工品開発研究会の立ち上げを提案したい。

【回答】 （産業課長） 農林漁業者と加工者がお互いに商品開発や販売拡大等に取り組みべきだと思っている。

【質問】 商品の開発と商品化するためのセミナーの開催について。

【回答】 （副町長） 自分たちの力で新しい品物を創造していくという考え方も必要だと思

空き家対策について

【質問】 空き家対策について。策庁内検討会をつくっている。六課の調査を終えてから空き家対策の計画の策定を行ったり協議する予定で

【質問】 子育て支援について 町独自の支援施策事

業及び支援の見直しについて。

【回答】 （福祉課長） 出産の人数とか特殊出生率という問題もあるが、動向を見ながら将来の検討課題とさせていきたい。

【質問】 町民一人ひとりのおもてなし、串本町のイメージづくりについて。

【回答】 （企画課長） 過去にないビジネスチャンス。このチャンスを最大限に生かす施策の企画を立案していく。ホテルほか観光事業者等、観光協会・商工会、その他関係団体と連絡調整を行いながら、関係団体とともに取り組みたい。

【質問】 国体会場を生かしたスポーツ誘致の取り組みについて。

【回答】 （教育次長） 東牟婁エリアスポーツ合宿誘致推進協議会につきましては、担当レ

ベルで考えていきたい。

【質問】 芝生の今後の管理について。

【回答】 （教育次長） ジリーグチームが来ていただけると最低のレベルで管理していきたい。

【質問】 地震対策の進捗状況と補助対策について。

【回答】 （総務課長） 出前講座を始めてから回数は、平成26年度まで149回開催している。延べ人数は5,284人の方が参加している。避難路や避難場所につきましては、113路線を整備しています。

【質問】 被災後の混乱の中で復興計画を進めるのは難しいので、被災前に串本町震災復興都市計画指針の策定が進められているか。

【回答】 （総務課長） 串本町震災復興都市計画の策定について、進めています。ただ、串本町地域防災計画の中に災害に強いまちづくり防災計画がある。その中で公共施設の

耐震ベッドや耐震シールドの設置工事の制度もある。ブロック塀等の撤去補助制度もあり、平成26年度から補助率を10分の9に上げました。



鳥取県日南町役場（木造2階建て）

高台移転と、高速道路を利用した避難場所の整備等について記載されています。

【質問】 串本町の庁舎の耐震について。木造庁舎の建設については、メリット・デメリットについて検討します。

【回答】 （総務課長） 本庁舎の耐震診断はしていません。木造庁舎の建設については、メリット・デメリットについて検討します。災害に強い安心安全なまちづくりを推進するための防災基盤の整備事業があります。使えないか財政サイドで調べ